

中村日本新で銅



女子200メートル背泳ぎで獲得した銅メダルを持ち、笑顔の中村礼子選手＝水泳センターメインプール(共同)

最後まで粘って同着3位

【アテネ二十日共同】アテネ五輪第8日の二十日、競泳女子二百メートル背泳ぎで中村礼子(22)＝日体大＝が2分9秒88

の日本新で銅メダルを獲得した。「最後まで粘って頑張った。よかったです。ぎりぎりです。緊張

がこぼれた。さわやかな笑みがこぼれた。「タッチした瞬間は分からなかった。よかったです。緊張がでてきた」。緊張

がほぐれ、ほっとした表情で喜びを語った。

スタート前、中村選手は息を一つ大きく吸って精神を集中した。レースでは、終盤の勝負にメダルが懸かる。3位と4位を激しく競り合ったままゴールした。

スタンドの家族からはスタートと同時に「よしっ」の掛け声。「礼子ちゃん頑張れ」。ゴールと同時に「やった」と歓声が上がった。掲示板の結果が出るまで一瞬の沈黙。3位と分かれると「バンザイ」と叫んだ。父親の悟さん(50)は「日本新だ。うれしい、うれしい」と興奮しっぱなし。「ラスト5メートルの勝負だったね。もう何も言うことはない」と話した。母マリ子さん(50)は「ありがとうございます。ありがとうございます。それしかない。もう、最高です」とほほの涙をぬぐった。